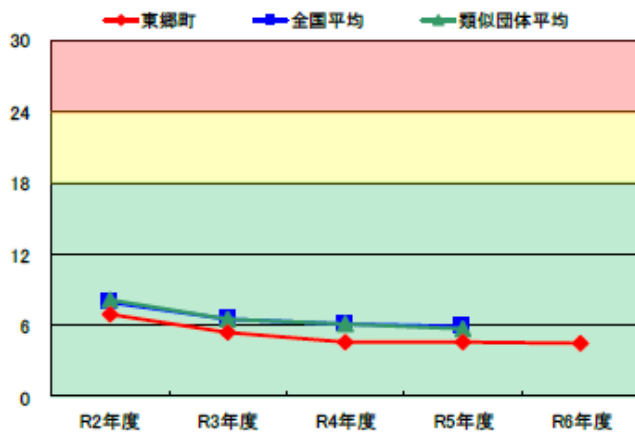


東郷町の財務状況把握結果(要旨)

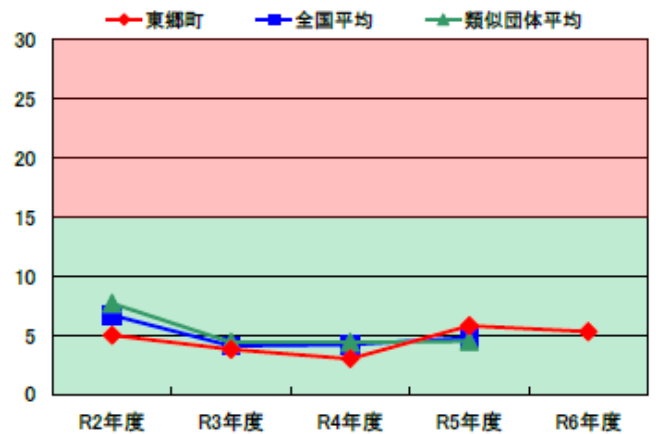
(R8. 1. 23 財務省 東海財務局)

財務指標の経年推移

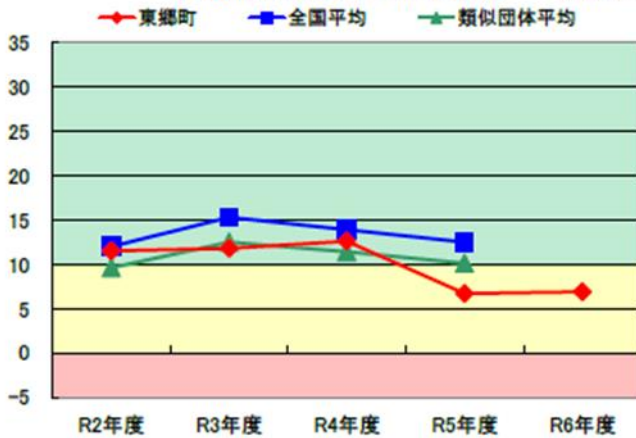
実質債務月収倍率5か年推移 (単位:月)



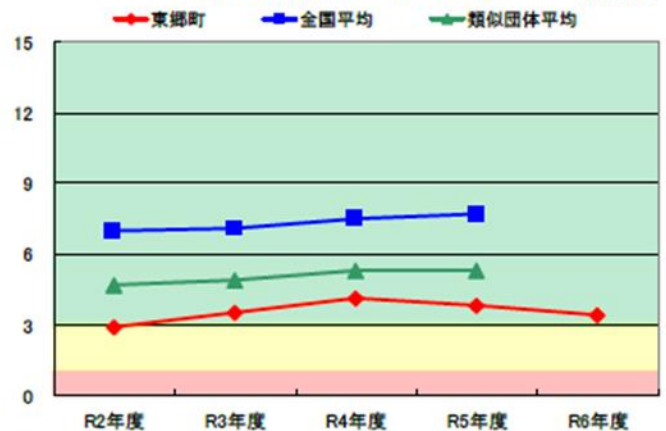
債務償還可能年数5か年推移 (単位:年)



行政経常収支率5か年推移 (単位:%)



積立金等月収倍率5か年推移 (単位:月)

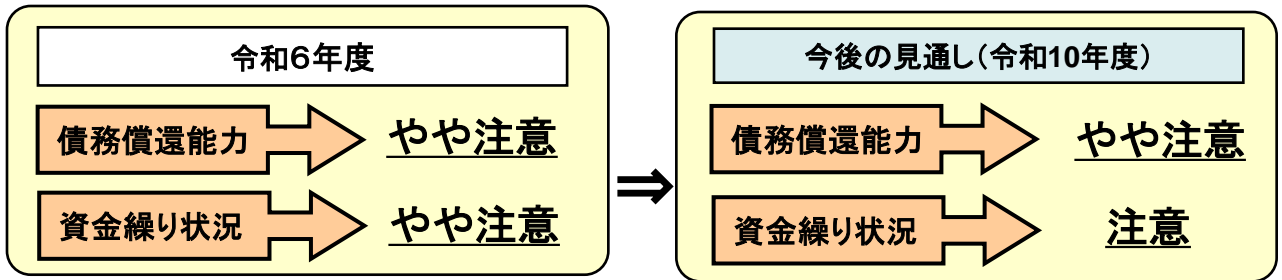


	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①実質債務月収倍率	6.9月	5.4月	4.6月	4.6月	4.5月
②債務償還可能年数	5.0年	3.8年	3.0年	5.8年	5.3年
③行政経常収支率	11.5%	11.8%	12.6%	6.7%	6.9%
④積立金等月収倍率	2.9月	3.5月	4.1月	3.8月	3.4月

	類似団体平均	全国平均	愛知県平均
①実質債務月収倍率	5.7月	5.9月	3.8月
②債務償還可能年数	4.5年	4.8年	3.2年
③行政経常収支率	10.1%	12.5%	11.6%
④積立金等月収倍率	5.3月	7.7月	5.2月

※ 平均値はいずれもR5年度

総合評価



財務指標

矢印の方向が今後の見通しの方向性を表しています

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕
問題なし	4.5月 → 横ばい	5.3年 → 横ばい		3.4月
やや注意	18.0月	15.0年	10.0% 6.9% → 横ばい	3.0月 ↓ 悪化
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

留意点

貴町は、名古屋市と豊田市の中間に位置するベッドタウンとして発展してきた。また、定住人口の増加やにぎわいと働く場の創出、財政基盤の強化等を目指し、東郷中央土地区画整理事業を核とする新たなまちづくり「セントラル開発」を推進しているほか、子ども医療費無償化や小学校少人数学級の実施等の子育て支援施策の充実等の取組により、子育て世代の転入超過が続いている。

一方、財政運営においては、大型商業施設の開業等により、固定資産税等が増加しているものの、扶助費や人件費、尾三衛生組合負担金等の補助費等の増加により、収入の増加を上回って支出が増加している。

今後もセントラル開発の効果発現による地方税の増加を見込む一方、人件費や扶助費等の義務的経費の増加等に加え、公共施設等の長寿命化を推進していく方針であるが、その財源として財政調整基金や公共施設等整備基金の取崩しを見込んでいること等から、収支や積立金等を含めた資金繰りはより厳しい状況となる見込みである。

こうした状況の中、貴町は既存事業の見直しを踏まえた予算編成のほか、公共施設管理室や公共交通対策室の新設等の組織機構改革等を進めることで、「町民みんなでまちづくり」「みんなが安心できる役場づくり」を実現していくための仕組みづくりを進めている。

引き続き、財政の基盤強化等を通じた安定した財政運営や公共施設の長寿命化等を計画的に進めることで、「未来が想像できるまち」の実現に取り組まれない。